

川勝知事は定例記者会見で、
新型コロナウイルスが拡大中でのお盆休み期間の帰省について、
次のように訴えています。

- 感染拡大地域からの帰省により、高齢者や基礎疾患を持っている人への感染拡大が大変危惧される。
- 帰省は別な場所に住んでいる家族との間の濃厚接触になる。その点で、同居する家族との旅行などと比べて、感染リスクは格段に高いと言わなければならない。
- 帰省については、久しぶりの再会を大変楽しみにされている、またお盆でもあるので、これを“まったく不要”と言う訳にはいかないが、こういう状況のため、本当に今でなければいけないのか、家族、また先方の方々と十分相談いただいて、地域ごとの行動制限を参考にし、自粛や慎重な行動を取ってほしい。
- やむを得ず帰省される場合は、既に自分も相手も感染しているかもしれないという意識を持って、移動前からの体温測定、人との接触を減らすなど、自己管理を行ってほしい。その上で、帰省後も体調管理のほか、マスクの着用、人と人との距離（ソーシャルディスタンス）の確保など、徹底した感染防止対策をお願いします。